

-----10月13日-----

※ 今週のアウトルック (10/13~10/17)

先週は、利益確定から円高に向かった通貨ペアが大半でした。  
米国による日欧に対する通貨安競争けん制発言などが、影響しているようです。  
今週は、利益確定からの調整が一服し、再び円安トレンドが復活するのか、それとももうしばらく円高トレンドが継続するのか、大きく見方が分かれるところだと思います。

先週ドル円は、109円台から週末の108円台後半まで、ほぼ一直線に円高が進みました。  
各国要人からの、通貨に対するけん制発言などが、利益確定を誘発しているように思います。  
ただ、米ドルの金利先高感などに変化はなく、要人発言のほとぼりが冷めた頃に、ドル高円安再開、ということになるのかもしれませんが。  
今週、もう一段の調整があるかどうかは、判断が難しいところだと思います。

米ドル円の予想レンジは106.5円から108円です。

ユーロドルは、米国要人からのユーロ安けん制発言から、1.25付近をサポートラインとして、幾分ユーロ安は一服しています。

けん制発言の影響がいつまで続くのか、判断が難しいところですが、一度は1.2付近までの下落は避けられないように思います。

一方、ユーロ円はしばらく続いた136円付近のサポートラインを、割る寸前まで来ています。ここを割ってしまうと、130円あたりまでの下落は避けられないかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは134円から138円です。

ポンドドルも1.6付近でなんとか折り返しているものの、サポートラインはあまり強く働いていないように思います。

ポンド円も、再び170円付近のサポートラインを目指す可能性が高まっているように思います。

ポンド円の予想レンジは170円から175円です。

今週は、調整からのドル安円高がもう一段進むのか、それとも再びドル高円安トレンドが復活するのか。週初、クロス円などのサポートライン突破が鍵となるかもしれません。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。